

第 77 回 構造分科会 議事録 (案)

1. 開催日時 2025 年 2 月 21 日 (金) 14 時 35 分～15 時 55 分
2. 開催場所 katana オフィス六本木 (Web 併用会議)
3. 出席者 (順不同, 敬称省略)
出席委員: 望月分科会長(大阪大学), 山田幹事(中部電力), 北条(三菱重工業), 本郷(IHI), 三橋(東芝エネルギーシステムズ), 網谷(北陸電力), 折田(東京電力 HD), 窪田(電源開発), 坂口(関西電力), 永山(中国電力), 町田(日本原子力発電), 村田(北海道電力), 上山(日本製鉄), 勝山(日本原子力研究開発機構), 宮崎(日本原子力研究開発機構), 岩崎(群馬大学), 小川(青山学院大学), 笠原(東京大学), 鈴木(長岡技術科学大学), 高木(東北大学), 堂崎(東北大学), 緒方(新産業創造研究機構), 佐藤(発電設備技術検査協会), 宇田川(IHI 検査計測), 小川(テプ コシステムズ), 小林(EPRI) (計 26 名)
代理出席者: 秋山(四国電力, 松原委員代理), 中島(電力中央研究所, 佐伯委員代理) (計 2 名)
欠席委員: 中根(日立 GE ニュークリア・エンジニア), 飯田(東北電力), 山下(九州電力), 高木(東北大学), 小枝(日本製鉄), 吉村(東京大学) (計 6 名)
常時参加者: 渡辺(原子力規制庁), 船田(原子力規制庁), 河野(原子力規制庁), 岩浅(資源エネルギー庁) (計 4 名)
オブザーバ: 岩井(東京電力 HD) (計 0 名)
説明者: 破壊靱性検討会 廣田主査(三菱重工業), 山本委員(電力中央研究所) (計 2 名)
事務局: 景浦, 高柳, 田邊(日本電気協会) (計 3 名)
4. 配付資料: 別紙参照
5. 議事

事務局より, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 望月分科会長の開催挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 会議定足数・代理出席者等・配付資料の確認

事務局から代理出席者 2 名の紹介があり, 分科会規約第 7 条 (委員の代理者) 第 1 項に基づき, 分科会長の承認を得た。委員総数 33 名に対して, 代理出席者も含め出席者は 26 名であり, 分科会規約第 10 条 (会議) 第 1 項の会議開催条件の「委員総数 2/3 以上の出席 (22 名以上)」を満たしていることを確認した。また, 事務局から常時参加者 4 名の紹介があった。続いて説明者 2 名の紹介と, オブザーバ 1 名の紹介があり, その後配付資料の確認があった。

(2) 分科会委員変更の紹介, 検討会委員変更の審議

1) 構造分科会委員の変更 (紹介)

事務局より, 資料 No.77-1-1 に基づき, 下記構造分科会委員の変更があり, 新委員候補については, 分科会規約第 6 条 (委員の選任・退任・解任及び任期) 第 1 項に基づき, 次回原子力規格委員会で承認予定との説明があった。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ・退任予定 折田 委員 (東京電力) | ・新委員候補 岩井 氏 (同左) |
| ・退任予定 宮崎 委員 (日本原子力研究開発機構) | ・新委員候補 安藤 氏 (同左) |
| ・退任予定 高木 委員 (日本学術振興会) | ・新委員候補 内一 氏 (東北大学) |
| ・退任予定 宇田川委員 (IHI 検査計測) | ・新委員候補 初山 氏 (同左) |

2) 構造分科会各検討会委員の変更（審議）

資料 No.77-1-2 に基づき、下記検討会委員変更について事務局より紹介があり、分科会規約第 13 条（検討会）第 4 項に基づいて、検討会委員として承認するかについて、分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき、決議の結果特にコメントは無く、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

【破壊靱性検討会】

- ・退任予定 折田 委員（東京電力）
- ・新委員候補 岩井 氏（同左）

【PCV 漏えい試験検討会】

- ・退任予定 小川 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 村田 氏（同左）

【供用期間中検査検討会】

- ・退任予定 小川 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 近藤 氏（同左）

【SG 伝熱管 ECT 検討会】

- ・退任予定 大橋 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 青木 氏（同左）

【機器・配管設計検討会】

- ・退任予定 巽 委員（中国電力）
- ・新委員候補 林 氏（同左）

【渦電流探傷試験検討会】

- ・退任予定 小川 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 近藤 氏（同左）

【水密化技術検討会】

- ・退任予定 伊藤 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 佐々木 氏（同左）
- ・退任予定 舩井 委員（クマヒラ）
- ・新委員候補 井筒 氏（同左）

(3) 第 76 回構造分科会議事録（案）の承認

事務局より、資料 No.77-2 に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、決議の結果、特にコメントはなく、分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。その後事務局より、資料 No.77-3 に基づき、第 92 回原子力規格委員会議事録（案）の紹介があった。

(4) 審議・報告事項 他

1) 2024 年度活動報告・2025 年度活動計画（案）について（審議）

望月分科会長、事務局及び各検討主査より、資料 No.77-4 及び資料 No.77-5 に基づき、2024 年度活動報告・2025 年度活動計画（案）について説明があった。

2024 年度活動報告・2025 年度活動計画（案）については、今回の資料にて原子力規格委員会に上程するかについて審議を行った。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・水密化技術検討会より、「JEAG4630-2020 浸水防止設備技術指針」に関する活動計画の説明があり、その中で資料の記載内容の一部を修正したいとの申し出があった。

【修正箇所】2024 年度活動実績欄：「なし」→「改定要否の検討を開始した。」に変更

- ・その部分については修正の上、原子力規格委員会へ上程する事となった。
- ・2024 年度活動報告・2025 年度活動計画（案）について、資料 No.77-4 及び資料 No.77-5 を使用して原子力規格委員会に上程するかについて決議を取った。

○ 特に異論がなかったため、2024 年度活動報告・2025 年度活動計画（案）について、資料 No.77-4 及び資料 No.77-5 を使用して、分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づいて決

議の結果、特にコメントはなく、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

2) JEAC4216-202X フェライト鋼の破壊靱性参照温度 T_0 決定のための試験方法改定案書面投票意見対応について（報告）

破壊靱性検討会 廣田主査及び山本委員より、資料 No.77-6 から資料 No.77-9 に基づき、JEAC4216-202X フェライト鋼の破壊靱性参照温度 T_0 決定のための試験方法改定案第92回原子力規格委員会書面投票意見対応案について説明があった。

今回の原子力規格委員会書面投票での意見対応（意見付き賛成票）の結果が、編集上の修正の範囲内であるか否かについて意見を伺い、構造分科会としては、編集上の修正の範囲内との見解となった。以降の対応について事務局より、原子力規格委員会3役に説明し、編集上の修正の範囲内か否かについてご判断頂くとの説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 「MCT-1300 記号及び用語の定義」で、各項目に対する説明文の始まりのところに「—」を用いているが、JIS Z8301 の附属書 H に以下の記載がある。

H.4.2.5 コロン

コロン“:”は、式、図、表又は文章中に用いる用語・記号を説明する場合に、その用語・記号の後ろに付けて用いる。

- ・ JIS Z8301 に従うのであれば、「—」ではなく「:」が適切と考える。
→規格改定案は、電気協会が定めている「規格策定の手引き」に従って作成している。そのため、まずは手引きに反映するのが良いと思う。
- ・ JIS Z8301 の該当部分からの指摘についてはその通りであるが、現行の電気協会の決まりに従うのが筋であるので、今回の改定案の記載はそのままとさせて頂く。一方、委員からご指摘頂いた点はJISに合わせるべきと考える。
- ・ 現行の電気協会の手引きに従う事は理解しているが、いずれは手引きを改定していくのがベターであると考え。
- ・ 「MCT-1300 記号及び用語の定義」で、「(49) マスターカーブ」の後に「:」があるが、ここは説明ではなく項目名なので、この「:」は不要と考える。
→JEAC4216-2015 では、すでにこのフォーマットで記載しているので、現状はそれを踏襲した形になっている。ご指摘の件については、今後手引きの改定がなされた後、手引きに従い見直す事にしたい。
- ・ 手引きへの反映については、事務局を含めて関係者に連絡する。

3) JEAC4201-2027[2024 年追補版]/JEAC4206-2007[2023 年追補版]の技術評価について（報告）

事務局より、資料 No.77-10 から資料 No.77-14 参考3に基づき、JEAC4201-2027[2024 年追補版]/JEAC4206-2007[2023 年追補版]の技術評価について報告があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 技術評価対応については、随時 NRA 側と面談を重ねて、先方より提示された質問事項に対する回答案の説明を実施。本日午前中に「第3回公開会合」が開催され、技術評価書案の一部も提示された。
- ・ 今後は、引き続き面談等を通して、質問事項に対する回答案の説明を行っていく予定。次回の構造分科会では、改めて対応状況についてご報告の予定。

(5) その他

- ・ 次回構造分科会開催は2025年5月21日(水)を予定しており、予備日は5月20日(火)を予定している。各委員に都合の伺いを実施し、詳細については別途事務局より連絡したいと考える。

以 上

第 77 回構造分科会配布資料

資料 No.77-1-1	原子力規格委員会 構造分科会 委員名簿
資料 No.77-1-2	原子力規格委員会 構造分科会 各分科会委員名簿
資料 No.77-2	第 76 回 構造分科会 議事録 (案)
資料 No.77-3	第 92 回原子力規格委員会議事録 (案)
資料 No.77-4	添付 1_②構造分科会_2025 年度活動計画 (案)
資料 No.77-5	添付 2_2025 年度各分野の規格策定活動 (案)
資料 No.77-6	JEAC4216-202X 改定案 第 92 回規格委員会後書面投票_構造分科会向け変更箇所まとめ
資料 No.77-7	JEAC4216-202X 改定案 第 92 回規格委員会後書面投票時のご意見及び回答 (案)
資料 No.77-8	JEAC4216-202X 改定案 第 92 回規格委員会後書面投票対応_第 17 原稿 r04 新旧対照表
資料 No.77-9	JEAC4216-202X 改定案 第 92 回規格委員会後書面投票対応_第 17 原稿 r04
資料 No.77-10	「1. 第 2 回原子炉構造材の監視試験方法及び破壊靱性の確認試験方法に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム会合における指摘事項のうち JEAC4201 に関する 回答
資料 No.77-11	2. 第 2 回原子炉構造材の監視試験方法及び破壊靱性の確認試験方法に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム会合における指摘事項のうち JEAC4206 に関する 回答
資料 No.77-12	参考 1 第 2 回原子炉構造材の監視試験方法及び破壊靱性の確認試験方法に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム会合における指摘事項のうち JEAC4206 に関する確認事項についての回答
資料 No.77-13	参考 2 「原子炉構造材の監視試験方法及び破壊靱性の確認試験方法に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム会合における日本電気協会への説明依頼事項 (その 2)」の内、JEAC4206 に関する説明依頼事項及び検討チーム会合における質問に対する回答 (第 2 回検討チーム会合資料 2-2 の修正版)
資料 No.77-14	参考 3 「原子力発電所用機器に対する破壊靱性の確認試験方法に係る規格の技術評価に関する日本電気協会への説明依頼事項 (その 3)」に対する回答